

やまなし 市議会だより

平成23年 2月22日

第24号

平成22年度 山梨県市議会議長会議員合同研修会（後期）



2月10日、南アルプス市桃源文化会館ホールにおいて、山梨県市議会議長会議員合同研修会（後期）が県内13市の市議会議員多数出席のもと開催されました。この研修会では、山梨学院大学教授の西寺雅也先生を講師に招き、「二元代表制の現状とゆくえ（議会改革のために）」をテーマに講演が行われました。

子ども医療費の助成年齢を拡大

平成23年4月から、保険診療の医療機関での窓口無料化を12歳まで引き上げ

平成22年11月29日、平成22年11月臨時会が開催され、議員及び市長から提出された計2議案を原案のとおり可決しました。

また、平成22年12月定例会は、12月1日に招集され、21日までの21日間の会期で開催されました。この定例会では、補正予算、条例の制定・改正など市長提出議案22件、議員提出議案1件を審議しました。この結果、すべての議案を原案のとおり可決・承認しました。

おもな内容

定例会議案等審議結果	2	常任委員会の審査	6～7
市政一般質問	3～6	議会活動日誌・編集後記	8

11月臨時会議案等 審議結果

人事院勧告に準じた特別職及び一般職の給与を改正する条例についての計1議案が市長より提出されました。

また、特別職及び一般職の給与条例の改正案が提出されたことを鑑み、議員報酬の条例改正案も併せて提出され、全員一致で原案可決としました。これは、市議会議員の期末手当を0・15カ月減額するよう改めるものです。

今回の改正による平成22年12月期末手当の減額内容は、金額にして議長6万6千600円、副議長6万2千100円、議員6万3千000円で、合計115万3千800円の減額となります。

【議員提出議案】

○山議案第九号
山梨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
(原案可決)

【市長提出議案】

○議案第七十四号
山梨市長等の給与及び旅費条例等の一部を改正する条例について
(原案可決)

12月定例会議案等 審議結果

議案第七十五号は、国、県で勤務時間の改正がされたことから関連する条例の一部を改正するものです。

勤務時間の短縮は、23年4月1日から実施し、終業時間が従来の午後5時30分から15分短縮して午後5時15分となります。

議案第七十八、七十九号は、水道審議会の答申に基づき、三富地域については基本料金を山梨・牧丘地域と同額に統一し、また水量料金を改定することで平成21年度の実績において約22・7%、山梨地域の上水道については、牧丘地域の水量料金と統一し約9・92%引き上げるため、条例の一部を改正するものです

議案第八十号は、子ども医療費助成対象年齢を9歳から15歳に引き上げるもので、医療機関での窓口の無料化を12歳までとし、13歳から15歳の入院に係る医療費については償還払いとするため、条例の一部を改正するものです。

【議員提出議案】

○山議案第十号
教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための意見書の提出について
(原案可決)

会均等及び水準の維持向上を図るための意見書の提出について
(原案可決)

【市長提出議案】

○議案第七十五号
山梨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第七十六号
山梨市特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第七十七号
山梨市交通・火災災害共済条例の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第七十八号
山梨市簡易水道条例の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第七十九号
山梨市水道条例の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第八十号
山梨市子ども医療費助成金支給条例の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第八十一号
山梨市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条

例について

○議案第八十二号
山梨市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の全部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第八十三号
平成22年度山梨市一般会計補正予算(第4号)
(原案可決)

○議案第八十四号
平成22年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
(原案可決)

○議案第八十五号
平成22年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
(原案可決)

○議案第八十六号
平成22年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
(原案可決)

○議案第八十七号
平成22年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第3号)
(原案可決)

○議案第八十八号
平成22年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第3号)
(原案可決)

○議案第八十九号
平成22年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第2号)
(原案可決)

○議案第九十号
平成22年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
(原案可決)

○議案第九十一号
平成22年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第3号)
(原案可決)

○議案第九十二号
平成22年度山梨市水道事業会計補正予算(第3号)
(原案可決)

○議案第九十三号
土地改良事業(農山漁村活性化プロジェクト)支援交付金事業成沢地区)を山梨市営として施工の承認を求めることについて
(原案承認)

○議案第九十四号
平成22年度山梨市一般会計補正予算(第5号)
(原案可決)

○議案第九十五号
平成22年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第4号)
(原案可決)

○議案第九十六号
平成22年度山梨市病院事業会計補正予算(第2号)
(原案可決)

【請願】

○請願第二号
教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書 (採択)

市政一般質問 代表・一般

平成22年12月定例会の市政一般質問及び質疑が12月15日・16日に行われ、代表質問を4人の議員が、一般質問を5人の議員が行い、市政全般について市の考えをいただきました。
質問と答弁の要旨はつぎのとおりです。

詳しい内容を知りたい方は、会議録を市民館・公民館・情報公開コーナーなどにも備えていますのでご覧ください。また、会議録はホームページにおいても公開しています。

代表質問

真和会 秋山 榮治 議員



● 財政関係について
①平成21年度の決算及び第一次行財政改革推進計画について

②平成23年度予算について
 ③主要事業に対する財源内訳表示について
 ● 道路工事の推進と「まちづくり」について
 ● 南棟の活用と総合グラウンド建設について
 ● 環境について
 ①市民懇話会について
 ②ホワイトゴートの導入の検討について
 ● 地域密着型サービス事業所の募集状況について
 ● 住民基本台帳カードについて
 ● 有害獣防除柵設置事業について
 ● 後屋敷小学校校庭拡張について

〈主な質問と答弁〉
問 財政関係について
 「主要事業一覧表」の事業費に対し、財源内訳を明記することによって、その事業の財源内容や補助率等も把握でき、予算説明書と併せた予算執行管理も理解し易くなると思うが、改善状況を伺いたい。

答弁 市長
 9月補正予算概要書の作成から主要事業、特に新規の主要事業の補正内容についての説明を概要に入れることを指示した。当初予算までにはさらに検討を重ね、より主要事業の内容がわかりやすい予算概要を作成できるよう努力する。

● 南棟の活用と総合グラウンド建設について
 ● 南棟敷地活用についての総合グラウンド建設に対する市長の考えを伺いたい。

答弁 市長
 面積や周囲の住環境への影響等の諸条件も考慮しながら、図書館整備と並行して総合的に研究をしていきたい。有害獣防除柵設置事業について

問 牧丘地域の有害獣防除柵設置計画について、市道7号線、フルーツライン城南区馬場から野背坂峠に向かつて東側800m位が現在未設置の状態であるが今後の計画及び被害防止に対する考えを伺いたい。

答弁 市長
 全体の整備計画との整合、調整を図り、できるだけ早い時期に有害獣防除柵を設置できるように県と協議する。当面の対策として市単独事業の有害獣防除柵設置費用補助事業を活用して電柵等を設置していただきたい。

問 後屋敷小学校校庭拡張について
 後屋敷小学校の校庭の状況及び拡張の必要性について当局の考えを伺いたい。また、調査費の計上及び年次計画等の考えを伺いたい。

● 平成23年度予算編成について
 ● 一括交付金化について
 ● 消防施設について
 ● 市道野背坂線、落合正徳寺線、小原東・東後屋敷線について
 ● 住宅行政について



山和会 飯嶋 賢一 議員



校庭拡張が検討される後屋敷小学校

答弁 市長
 市内の小中学校の中では、最も手狭であり、社会体育の利用には支障があることは承知している。市としては、校舎、屋内運動場の改築、耐震化が一巡したことを背景に学校施設をはじめ、周辺環境整備を含めて、山梨市教育施設整備年次計画案の策定を考えており、校庭拡張も含めて検討していく。

● 住宅用太陽光発電システム設置費補助金について
 ● 子ども手当から給食費を差し引くことについて
 ● 観光行政について
 ● 障害者総合相談センターについて
 ● 学校支援地域本部事業について

〈主な質問と答弁〉
問 平成23年度予算編成について
 平成23年度予算編成にあたって、市長が推進したい施策は何か。関連する予算の増額についても伺いたい。

答弁 市長
 子育て支援、教育環境の整備、エコライフの推進など、総合計画に基づいた施策を進めたい。関連する予算については、現行の一般財源枠配分の中で対処する。

問 消防施設について
 宅地分譲開発等の開発行為の際の消火栓の設置義務の導入を検討して頂きたい。

答弁 市長
 山梨市開発行為等指導要綱記述基準において、開発者には設置基準を設け、消防水利を確保するように明記されており、指導に沿った施行が行われている。住宅が増加した地区からの要望や水利の確保などが困難な地域については、水道管の付設状況や管

の口径等を調査するなど周辺環境を把握の上対処すべきものと考えている。

問 市道野背坂線、落合・正徳寺線、小原東・東後屋敷線について

今後の道路整備計画について考えを伺いたい。

答弁 市長
市道野背坂線は、来年早々には牧丘側約100メートルの工事に着手し、平成26年度の完成を目指している。落合正徳寺線は、23年度から用地測量調査を行い、31年度の完成を目指す。

小原東・東後屋敷線の青梅支線については、今後も甲州市や県と協議し取り組んでいく。

問 住宅用太陽光発電システム設置費補助金について

「住宅用太陽光発電システム設置費補助金」の現在の状況と、申し込み多数の場合どのような対応となるか伺いたい。

答弁 市長
本市の住宅用太陽光発電システム設置費補助金は、平成22年11月末までの6年半の間に補助件数262件、補助総額3千79万4千円の交付を行った。打ち切りなどの不公平がなく、多くの市民の皆様が広く利用できるよう、明年度以降は、補助金単価並びに申請手続等の見直しを検討し普及に努める。

新風会 古屋弘和 議員



●自治会加入促進について
●山梨市提案型 協働のまちづくりについて

●環境政策について
●雇用情勢の改善について
●市民目線に立った自治体の窓口業務について
●山梨市立図書館について

〈主な質問と答弁〉

問 自治会加入促進について
山梨市における自治会活動と加入促進についての考えを伺いたい。

答弁 市長
転入し、新たに市民となった方には、手続を行う際に、組への加入についてお知らせをしている。また、広報誌を活用し、区の活動等を紹介することに、各区長の意見を聞く中で検討する。

問 山梨市提案型協働のまちづくりについて

行政が、積極的に行動し思いを伝えることが必要だと思いが、市の考えを伺いたい。

答弁 市長
平成20年度に策定した、「みんなで山梨市をよく

する協働事業推進の方針」の4つの柱の1つとして市民交流共生コミュニティの協働事業モデルがあり、さまざまに人々が交流の機会や場を設け、協働事業について研究、実施することとなっている。この事業モデルについては、平成24年度中に実施したい。

問 環境政策について

ベクシヨウ市の環境施策は、山梨市が次世代エネルギーパーク計画を進める上で参考になる点が多い。山梨市が目標として掲げられることは何か考えを伺いたい。

答弁 市長
木質バイオマスの利用促進を図るため公共施設への関連機器の設置、市民による機器設置への補助などの取り組みを進め、豊かな森林や果樹園から発生するバイオマス資源を有効活用するための支援を継続する。地域特性を活かし、市と自然が共生し環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の実現と地域の活性化に努めていきたい。

問 市民目線に立った自治体の窓口業務について

市長の掲げる「思いやり」「支えあい」の方針を現実にするためには、市民目線に立った窓口業務が取組みの原点だと思いが市長の考えを伺いたい。

答弁 市長
来庁者への対応として東館に案内を設けている。複合する相談については複数の関係課の対応も生じるので、来庁者が複数の課を歩かないよう、各課の連携強化を図り、市民サービスの向上に努める。

市民の会 雨宮 巧 議員



●消防団の活動について
●「ゼロ・ウェイスト」について
●環境問題で小水力発電について

●図書館について
●牧丘支所の空スペースについて
●コンビニ収納について
●議案第七十五号「勤務時間短縮に伴う窓口対応」について

●下水道経営計画について
●小中学校教室へのエアコン設置について
●旧堀之内小学校の利活用について

●新学習指導要領について
●消防団の活動について
●消防協力事業所や市民へ

の意識啓発についての考えを伺いたい。

答弁 市長
今後、本市においては、協力事業所表示制度の要綱を定め、特典等を付与することが適当であるかどうかなどが総合的に検討していく。

問 環境問題で小水力発電について

小水力発電に対する考え方を伺いたい。

答弁 市長
本市には水路及び落差から推察して発電が可能と見込まれる未開発の小水力発電の候補地点が複数あるが、本市内に流れる取水は、ほとんどが国及び県管理の河川からの取水によるもので、この場合、管理者に対し、河川法の許認可手続が必要となり、関係水利権者の同意など、多大な費用と時間を費やすことになる。採算性のある箇所について、水利権を有する団体や民間企業が事業主体となるものへの支援など先進事例を研究しながら研究していきたい。

問 図書館について

現在図書館が併設されている山梨市民会館には、ほとんど利用されていないスペースがある。またエレベーターがあるのだから、図書館が別フロアになっても良いのではないか。

【答弁】 市長
来年度検討委員会を設

置して、図書館のあり方、運営方法、サービス内容、設置場所等について検討をしていただくため、ここの答弁は控えたい。

【問】 置について
小中学校へのエアコン設置

エアコンの各教室への設置はどの様な計画となっているか考えを伺いたい。

【答弁】 市長
すべての教室に設置を

するとすると、試算で約4億円が必要となる。まずは、トイレを中心とした大規模改修工事を優先して、実施していきたい。

一般質問

公明党

大竹裕子議員



- 指定管理者制度に対する本市の考え方について
- 予算編成方法について
- 山梨市駅のバリアフリー化について
- 白血病の相談体制について
- 高齢者の一時あずかり制度

について

● 山梨市交通・火災災害共済制度について

〈主な質問と答弁〉

【問】 山梨市駅のバリアフリー化について

駅エレベーター設置にかかるJRと市の負担割合と、国、県の補助率について、担当課で研究した状況と今後の見通しを伺いたい。

【答弁】 市長

駅構内のエレベーター等の設置費用については、国とJRが3分の1ずつを、県と市が6分の1ずつを負担することとなっている。本市においても、駅構内の設置についてはJR東日本が整備主体になるので、整備改修内容等を研究し協議していく。



さらなるバリアフリー推進が期待されるJR山梨市駅

【問】 高齢者の一時あずかり制度について

市の養護老人ホームを利用することや、他の施設と契約を交わす等して、介護者の助けになる制度が必要かと思うが、考えを伺いたい。

【答弁】 介護保険課長 向山邦夫
介護認定を受けた高齢者を一時的に介護する場合に

は、介護保険制度の短期入所生活介護、あるいは介護予防短期入所生活介護、いわゆるショートステイのサービスが緊急時等に利用できるため、これを利用していただきたい。市民の会

小野鈴枝議員



- 山梨市の観光について
- 駅南地域の推進について
- 女性の管理職登用について
- 遊休農地等について
- 子ども手当の未受給について

〈主な質問と答弁〉

【問】 駅南地域の推進について

来年度予算編成の中での主要事業施策としての駅南地域に対する見解を伺いたい。

【答弁】 市長
本地域の整備について、8月の県知事への要望で、

県道停車場線が県施行で行う見解が示されたことは、市及び地域において、大きな進展である。今後は、この県道整備の早期着工を目指すために、さらに積極的に働きかけをしていきたい。

【問】 女性の管理職登用について

本市での現状は。また、女性の管理職登用についての市長の考えを伺いたい。

【答弁】 市長

4月1日現在の市役所の管理職の数は合計65人である。女性管理職は2人であり、課長はいない。男女を問わず、個人の職務遂行能力及び管理職としての指導力等、適切な管理能力を備えた人材を課長に登用したい。

日本共産党

吉田昭男議員



- 誰もが住みやすい街づくり、障害者に優しい山梨市をめざして
- 水道料金の見直しについて
- 安心な国民健康保険の確立をめざして
- 介護保険について

〈主な質問と答弁〉

【問】 誰もが住みやすい街づくり障害者に優しい山梨市をめざして

オンデマンド交通の導入についての調査研究を始める必要があると思うが市の考えを伺いたい。

【答弁】 市長

本市の地理的条件、利便性、公平性、費用対効果等を含め、デマンド方式を導入することによる有効性を調査する中で、よりよい公共交通となるよう、さらに研究していきたい。

【問】 介護保険について

新予防給付創設により要介護認定が減少傾向にあるが、山梨市の状況はどのような変化しているか。再審査を求める件数と結果はどのようなになっているか。

【答弁】 介護保険課長 向山邦夫

平成22年10月末日の要介護・要支援認定者数は1千412人で、昨年同期と比較すると、人数で65人、率で4.8%の増となっている。区分変更申請の件数については、平成22年度は10月末日現在で59件の申請があり、昨年同期から約2割増である。その要因については、昨年4月の認定調査内容の改正により、要介護度が低くなる、軽くなる傾向となっているためだと考えられる。申請の結果、介護度が重くなった方は38件で64%となっている。

公明党
木内健司 議員



●市立図書館について
●買い物弱者対策について
●鳥獣被害対策について
〈主な質問と答弁〉

問 買い物弱者対策について
今年度から市民提案型協働のまちづくり支援制度が創設されたが、今後公募型事業、もしくはプランとして提示するなどして買い物弱者対策事業を支援する考えはあるか伺いたい。

答 市民生活課長 野沢信次
今後、買い物弱者への支援措置を考えると、地域の実情を把握するとともに、地域住民、ボランティア団体、NPO法人といった市民活動団体など、事業を実施における受け皿となる団体の育成や確保も重要となり、協働を考

問 鳥獣被害対策について
生産現場の意見を踏まえ

た実効性の高いソフト面などの対策と、必要な予算の安定確保に向けた取り組みを強く要望するが、市の考えを伺いたい。

答 農林商工課長 奈良 孝
市としては特定鳥獣適正管理事業を継続して取り組むとともに、有害鳥獣駆除事業として猟友会による駆除活動に対して補助金を交付するほか、捕獲機材を支給し、農作物被害を抑制しているところである。このほか、電柵の設置など幾つかの対策を組み合わせて行うことが有効な手段であるので、これらにかかる支援を継続する。

山和会
大村政啓 議員



●行政委員の報酬実態と日額制への見直しについて
●有害鳥獣防止柵の整備について
●合併特例債借入後の交付税(普通交付税)措置について
●本市の基金の保有と今後の活用について
●住民交流事業巨峰の丘カラオケ大会の復活について
●窪平温泉(花かげの湯)駐車場の借地関係について

〈主な質問と答弁〉

問 行政委員の報酬実態と日額制への見直しについて
行政委員の報酬日額制への見直しについて考えを伺いたい。

答 市長
法律、政令により設置が義務づけられているもの及び設置ができる規定のものをあわせて、勤務形態等の状況を把握した上で日額制の導入の検討を進めており、条例改正を3月定例会市議会に提案する予定である。

問 本市の基金の保有と今後合併時の構成市町村からの持寄基金の総額はどの位か。合併特例債の起債で地域振興基金として平成17、18年に総額10億円基金に積み立てしているが、合併特例債を発行して基金に積立て、事業化しなくても交付税措置の対象になるのか。

答 財政課長 里吉幹夫
合併時の持ち寄り基金総額は13億3千33万円余であり、内訳は、財政調整基金5億6千808万円、減債基金1億9千3万円などである。合併特例債による地域福祉基金は地域振興経費に充てることを目的としている。合併特例債として借り入れたものは元利償還金の70%が普通交付税に算入されている。

○議案第八十三号について
歳出の諸支出金について、基金に繰越金3億円を2種類に分けて積み立てをした内容。

●記事の記載ミスについて
お詫びと訂正
※議会だより第23号6ページの吉田昭男議員による一般質問について、質問項目の中に「●土地開発公社について」との記述がありますが、当該の質問を吉田議員は行っていません。記載ミスについて事務局より、お詫び申し上げますとともに、訂正いたします。
議会だより編集委員会事務局

常任委員会の審査

今定例会の各常任委員会
は、12月17日・21日に開催され、付託された議案について慎重に審査が行われました。各常任委員会における質疑の要旨(抜粋)は次のとおりです。

総務

問 基金への繰越金の積み立てについては、財政調整基金に1億円、また起債の償還が平成24年度にピークを迎えることから市債管理基金への2億円の積み立てである。今後とも今年度決算状況を見る

○議案第九十四号について
歳出の諸支出金に関して、

中で、3月補正でもし積み立てができるようであれば、財政調整基金に積み立てをしていきたい

問 徴税費に関して、賦課徴収費の補正額241万4千円コンビニ収納の内容と維持管理費はどのくらいか。

答 補正に計上した額はシステム導入の開発費である。また、年間維持経費としては、基本料金、手数料を含め新たな委託料としてコンビニ対応納付書の用紙料金等710万円余が見込まれる。しかし、作業負担軽減によって収納整理、滞納整理が強化充実できることと、総合的な経費削減によって、システム導入の初期投資経費約2千100万円は5年程度で回収できると考えている。

問 総務費について、市営バス停留所の増設等の予定はあるのか。

答 バス停の増設について、山梨循環線のうち、特に市民から要望の多い所について、検討しているところである。また、今回の時刻表の見直しの中では、バスの運行回数増減は予定していないが、できる範囲で検討したいと考えている。

○議案第九十四号について
歳出の諸支出金に関して、



総務常任委員会のサーバー室
現地調査の様子

創出の対策とのことだが、いつから行うのか、また内容は、
答 今回の12月補正において、基金積立金を計上し、平成23年、24年の2年間の雇用創出に充てる予定である。今回の事業の対象は、自殺者の予防、DV対策などに対する相談の充実、知の地域づくりの事業では図書館司書の充実などが対象となっている。

要望事項

◆職員の勤務時間の改正によって住民サービスが低下しないよう、市民に対し広報等を通じ、業務時間短縮について周知徹底を図ること。

委員会審査後、山梨市役所本庁舎内コンピュータシステムのサーバー室および山梨市情報通信センター、また旧庁舎内の株式会社シーシアダブルの現地調査を行いました。

建設経済

○議案第七十八号および議案第七十九号について

問 今回の改正による水道料の値上げによって、赤字は補えるのか。また、簡易水道料金の基本料金について、水道料金の基本料金と同額になったが、今後の他の料金体系についてはどの様に考えているのか

答 今回の値上げでは赤字が補えるものではない。水道事業、簡易水道事業は、給水人口の規模による区分であり、本質的な違いはない。将来的には料金体系の統一を図り、採算の取れる様にしていきたい。今回水道および簡易水道の基本料金が同額となることは、公平性の観点から大きなものと考えている。
○議案第八十三号について
問 道の駅の運営管理に関する経費の補正額が大きいのではないか。

答 これまで市で経費負担を担っていた部分について、特に負担すべきと思われる箇所やその割合について検討し、必要な額を今回の補正に計上した。
○議案第八十六号について
問 一般管理費の負担金補助及び交付金が減額されているのはなぜか。

答 峡東流域下水道維持管理負担金の当初計画より、排水量が少なく、支払額が予算額に対して減額になる見込みのためである。

問 鼓川温泉の浄化槽に、土圧によると思われる亀裂が何箇所か生じたため工事をを行う必要があるとのことだが、土圧はあらかじめ計算されていたのではないのか。

答 山はねという現象により、浄化槽下部から押し上げられていた可能性が考えられる。浄化槽の外壁ではなく、内部隔壁に亀裂が生じていることも、下部からの土圧が発生していることを示唆している。加えて鼓川温泉周辺は岩盤のため、これが山はねの土圧を発生させたと考えられる。

委員会審査後、成沢地区の土地改良事業施行予定地、および野背坂線の現地調査を行いました。

教育民生

○議案第八十三号について
問 小学校費スクールバス運行事業費について、八幡小学校と三富小学校の2校でスクールバスの運営をしているが、2台共、市内から出た廃食油を精製したバイオディーゼル燃料を使用しているはず

だが、今回、燃料費の補正が提案されているのはなぜか。

答 バイオディーゼル燃料は、低温時には燃料が固まり流動性が低下し、バスのエンジントラブルの一因になると考えられるため、冬期間においては、バイオディーゼル燃料の使用を停止し、軽油を使用することにより、燃料費の不足が見込まれるためである。

問 小学校学校施設整備費について、設計委託料として304万7千円が計上されているがどのような内容か。

答 耐震工事の際に改修が未実施であった八幡小学校、岩手小学校の2校のトイレ等大規模改修のための設計委託料である。他の大規模改修未実施の小学校についても、順次、実施を予定している。
○議案第九十四号について
問 保育所費について、地域活性化きめ細かな交付金の実施事業として、保育所の修繕工事を希望した経過は。

答 保育所については、平成22年度において耐震診断を4園で実施している。その内、既に耐震診断が終了している後屋敷保育園については、耐震工事の必要性はないとの診断結果となっており、耐震に係る補助金を受ける事が不可能なため、今回の地域活性化きめ細かな交付金を活

用した事業実施を希望するものである。

問 図書館費について、図書購入費として、1千825万円が計上されているが現在のスペースのない図書館の状況で、どのような購入内容を検討しているのか

答 現在、図書館では児童図書書を市立保育所に読み聞かせのために、大量貸出を行う事業を実施している。この事業を私立保育園にも拡大するために、図書館の児童図書スペースに空きが出来るので、児童図書の充実が必要である。



狭いスペースの図書コーナーが課題となっている

要望事項

◆環境政策・環境教育等の一環として、小水力発電の導入に前向きに取り組むこと。

◆今回のような交付金が今後ある場合には、修繕事業ばかりではなく、交付金の本来の目的・趣旨に沿った事業展開ができるように十分な検討をすること。

議会活動日誌

- 11月.....平成22年11月臨時会(29日)
- 12月.....平成22年12月定例会(1日～21日)
 -山梨市民生委員・児童委員委嘱式(3日)
 -議会運営委員会・議員全員協議会(20日)
 -第2回山梨市議会政治倫理検討委員会(20日)
 -第4回山梨市立図書館調査研究会(21日)
 -甲州市議会議長就任あいさつ来庁(24日来庁)
- 1月.....NewYearFestivalHAPPY!!初日の出(1日)
 -平成23年山梨市議会新年互礼会(4日)
 -平成23年山梨市消防団出初式(9日)
 -平成23年山梨市成人式(9日)
 -やまなし市議会だより編集委員会(24日)
 -第5回山梨市立図書館調査研究会(25日)
 -根津記念館歳時記イベント「節分豆まき」(30日)
 -議会運営委員会(31日)
 -議員全員協議会(31日)
 -山梨市議会政治倫理検討委員会(31日)
- 2月.....山梨市老人福祉大会(3日)
 -山梨県市議会議長会議員合同研修(後期)(10日)
 -第26回山梨県市町村自治講演会(10日)
 -東山梨環境衛生組合議会定例会(15日)
 -山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会(16日)



1月9日、平成23年山梨市消防団出初式が山梨北中学校グラウンドで行われ、議員が出席しました。



1月24日、議会だより編集委員会が正副議長室で行われました。



1月31日、政治倫理検討委員会が第3委員会室で行われました。

編集後記

◆立春とは名ばかりで寒い日が続いておりますが、福寿草の芽も顔を出し、心なしか春めいてまいりましたでしょうか。市民の皆様にはお元気で過ごさしめたいと推察申し上げます。

◆議会だより第24号をお届けいたします。

◆11月臨時会では、人事院勧告による特別職と一般職の給与改正に伴い、議員の報酬も改正しました。

◆12月定例会では、今回も代表と一般質問に9名が登壇し、当面する市政全般と諸問題について59項目につき当局の考えをただしました。

◆合併以来の大型事業も一段落しましたが、反面借金は一般及び特別会計を合わせると21年度末(9月決算時)で377億5千万円余であり、市民一人当たりの借金は98万円余となり、今後数年の間は借入に対する元利合計の償還金が多くなると思われます。

◆一寸先の見えない景気低迷による市税の減収に対し、国保税、介護保険料、水道料金等々の値上げによる市民の直接負担が大きくなっています。当局も議会も、これらに対する市民感情を大所高所から配慮して取り組むことが何より

大切であると考えます。◆次号第25号からは新しい編集委員会が発行されると思いますが装いも新たに尚一層充実したものとなることを期待しています。

◆微力でありましたが各委員のご協力をいただいで編集が出来ましたこと、またご愛読を賜りました市民各位に感謝申し上げますとともに皆様方の更なるご健勝とご発展をお祈りいたします。

文責 大村 政啓
 委員長 大村 政啓
 副委員長 飯嶋 賢一
 委員 高原 信道
 古屋 忠城
 秋山 榮治
 雨宮 悦子

3月定例会開催予定	
開会	1日(火)
常任委員会審査	9日(水)
本会議	11日(金)
代表質問	16日(水)
一般質問	17日(木)
常任委員会審査	22日(火)
常任委員会審査	23日(水)
閉会	25日(金)

※全日程午前10時開会
 ※日程は都合により変更となる場合があります